

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	56	—	事業名	障がい者自立支援事業	担当部課	福祉部福祉課
------	----	---	-----	------------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	障害者が暮らしやすいまちをつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	—		項	1	社会福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	4	身体障がい者福祉費
		政策分類	—		大事業	4	障がい者自立支援事業
	その他(関係法令、要綱等)		障害者総合支援法				
事業開始の背景、経緯等		障害者総合支援法に基づくサービスの提供					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域生活支援事業の実施 虐待発生時の緊急対応 給付の実施					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者本人及びその支援者及び事業所					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者が自立した生活を送れる					
	事業を構成する事務事業	① 障がい者自立支援事務事業	現状維持	④ 障がい者総合支援通所施設管理事業	現状維持		
	② 地域生活支援事業	現状維持	⑤				
	③ 自立支援給付事業	現状維持	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		-	412,184	480,896
決算					-	505,343	550,835	
人件費(B)	千円	決算		-	12,221	23,645		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	517,564	574,480		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 認定調査数	件	目標	-	-	-	90	100
			実績	-	-	-	95	
	B 手話奉仕員研修参加人数	人	目標	-	-	-	6.0	7.0
実績			-	-	-	7.0		
C 施設利用者数	人	目標	-	-	-	24.0	26.0	
		実績	-	-	-	26.0		

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 支援を必要としている人の指標となる

B 担い手を増やすことにより、障害者が地域で自立した生活を送ることができる

C 利用者が安全かつ快適に施設で過ごしている指標となる

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 人口増加に伴う対象者の増加により、支給額が増加傾向にある
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 認定調査、手話奉仕員研修参加人数、施設利用者数すべて目標を達成している
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 支給金額が年々増加傾向にある

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成30年度に障がい者相談支援センターを基幹化し、相談支援の充実を図る
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成30年度中に障がい者基幹相談支援センターに就労支援コーディネーターを設置する

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者自立支援事業									
番号	①	事務事業名	障がい者自立支援事務事業	款	3	項	1	目	4	大事業	4	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	障害者総合支援法に基づくサービス提供のための消耗品の購入 医師意見書作成依頼に対する手数料の支払 認定調査委託費等の支払
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	障害者総合支援法に基づくサービス提供に関する事務が滞りなく実施できる

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算	- -	- -	2,400 2,145	2,469 2,258	2,469
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 障害認定審査会委員報酬						1,580	千円
② 主治医意見書記載手数料						309	千円
③ 障害支援区分認定調査委託						286	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
認定調査数	件	目標	-	-	-	90	100
		実績	-	-	-	95	
		目標					
		実績					

<備考：活動の概要（当該事業年度）>

障害福祉サービスの利用を希望する障がい者に支援の量を量るための調査を行う

4. 事務事業を取り巻く環境変化

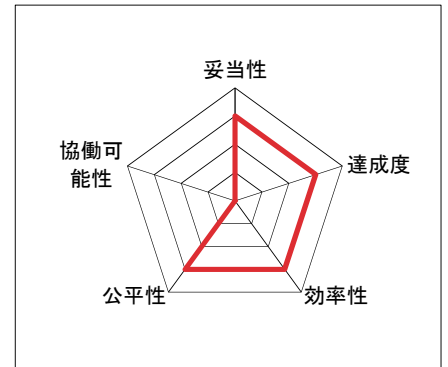
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
障害者総合支援法に基づく事務を滞りなく行っている。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も滞りなく事務を進めていく

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者自立支援事業									
番号	②	事務事業名	地域生活支援事業	款	3	項	1	目	4	大事業	4	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の実施 相談支援及び意思疎通支援事業の実施 虐待への対応
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	障がい者の自立を支援できる 権利擁護が図れる

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		-	72,535 68,226	73,976 68,102	93,625
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 相談支援事業委託						14,611	千円
② 日中一時支援事業給付費						34,532	千円
③ 移動支援事業給付費						7,268	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
手話奉仕員研修 参加人数	人	目標	-	-	-	6	7
		実績	-	-	-	7	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
手話奉仕員を養成する全40回の講座の実施 講座に関する広報							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

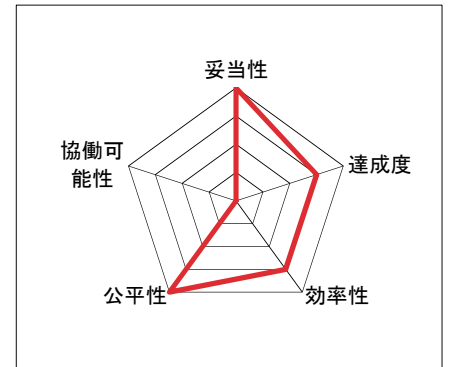
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
障害者総合支援法に基づき、事務を進めている

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も滞りなく事務を進めていく

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者自立支援事業									
番号	③	事務事業名	自立支援給付事業	款	3	項	1	目	4	大事業	4	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	障害者総合支援法に基づく自立支援給付の実施
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	障がい者の自立を支援する

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		-	337,199 434,829	404,401 480,376	627,345
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 日中活動系介護給付費					155,212	千円	
② 訪問系介護給付費					142,874	千円	
③ 日中活動系訓練等給付費					106,495	千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
育成医療給付申請	件	目標	-	-	-	11	4
		実績	-	-	-	4	
更生医療給付申請	件	目標	-	-	-	84	67
		実績	-	-	-	81	
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

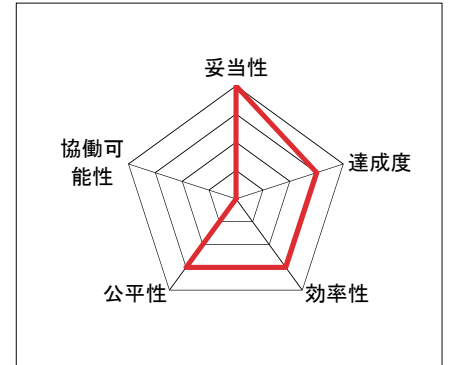
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
障害者総合支援法に基づき事務を進めている

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も滞りなく事務を進めていく

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		障がい者自立支援事業									
番号	④	事務事業名	障がい者総合支援通所施設管理事業	款	3	項	1	目	4	大事業	4	中事業	4
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

1. 事務事業の目的

対象 ・ 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	障がい者総合支援通所施設を安心・安全に管理する
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	障がい者が安心して施設を使用できる

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算	-	-	50	50	50
		決算	-	-	143	99	-
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 修繕料						99	千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
施設利用者数	人	目標	-	-	-	24	26
		実績	-	-	-	26	-
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

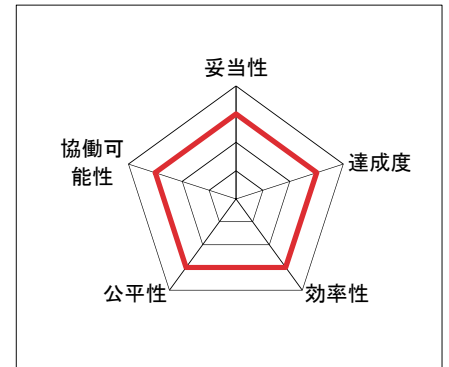
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
—

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
修繕等に迅速に対応する